

M2M・ビッグデータWG 第1回会合(キックオフ) 資料

2012年8月29日

式次第

第1回会合(キックオフ)

2012年8月29日 15:00-17:00

1. 挨拶 … 主査、事務局
2. 参加企業の自己紹介 … 参加目的と期待 (3分/社)
3. WGの活動計画のご説明
4. 活動に関する議論
5. 連絡事項

1. 挨拶

2. 自己紹介

参加企業・メンバー一覧

参加企業・メンバー一覧 別紙参照

3. WGの活動計画のご説明

M2M・ビッグデータWGの活動内容

ビッグデータを軸に、M2Mの領域まで拡大したWG活動を目指します。よって、ビッグデータ活用の出口を定義した上で、そこに必要なデータソース、課題を抽出し、さらに必要となるM2Mとしての要件、システム等を検討していきます。

- ① ビッグデータの活用領域、利用目的と利用用途等を検討・抽出
- ② ビッグデータのTo-Beモデルを作成し、そこから課題と施策の抽出
- ③ ビッグデータを軸にしたM2Mの適用モデルを検討し、同時に課題と施策を抽出
- ④ ビッグデータとM2Mの標準のシステムモデルと技術マップ及びインタフェースを検討
- ⑤ ビッグデータとM2Mの実証実験の検討と実施

(継続) ビッグデータの利用できる参加企業内、他WGとオープンなデータソースの抽出と整理

※ビッグデータとM2Mは「系横断」という位置付けもあり、他のクラウドWGとの連携も活動の中で取り込む

M2M・ビッグデータWGの活動の流れ



活動内容のご説明

活動の方向性

- M2Mとビッグデータは共に広範囲の議論になることが想定されるために、初期の段階で活動の範囲を明確にするために、以下を定義する。
 - ビッグデータの活用領域
 - ビッグデータの利用目的と用途
- To-Beモデルを定義しつつ、様々な課題を抽出し、施策を検討するか、関連機関への提言として取り纏めていくこととする。
- M2Mとビッグデータは他WGとの関わりが大きいことから、定期的な連携を取りつつ活動をしていく。(全てのWGと連携するかは、今後の検討事項)
 - 業務連携クラウド検討WG
 - 教育クラウドWG
 - 次世代クラウドサービス検討WG
 - 農業クラウドWG
 - 健康・医療クラウドWG
 - 水産業クラウドWG
 - 観光クラウドWG
- 本活動の中で、研究機関や大学等と連携し、スマートな街づくり等の実証実験に取り組むことも視野に入れる。

活動における成果物

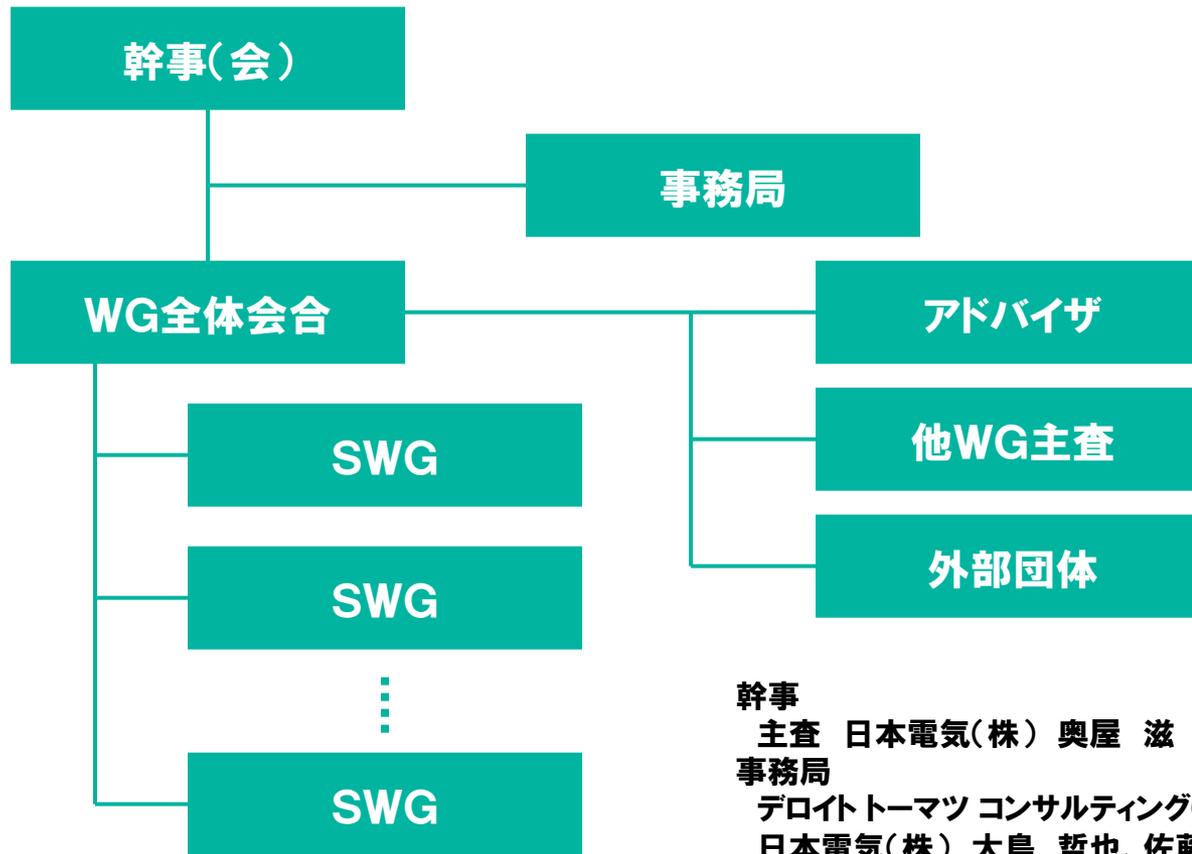
活動の流れごとの成果物(案)は以下の通りである。

- **ビッグデータの活用領域、利用目的と利用用途等を検討・抽出**
 - ・ ビッグデータの活用に向けた方向性と活用領域
 - ・ ビッグデータの領域別の利用目的と用途
 - ・ ビッグデータの活用による効果
- **ビッグデータのTo-Beモデルを作成し、そこから課題と施策の抽出**
 - ・ ビッグデータのTo-Beモデルの検討
 - ・ モデルからの課題と施策
- **ビッグデータを軸にしたM2Mの適用モデルを検討し、同時に課題と施策を抽出**
 - ・ M2Mの適用モデル
 - ・ モデルからの課題と施策
- **ビッグデータとM2Mの標準のシステムモデルと技術マップ及びインタフェースを検討**
 - ・ システムモデル、技術マップとインタフェース等のガイド作成
- **ビッグデータとM2Mの実証実験の検討と実施**
 - ・ 実証実験の検討と提案書の作成
 - ・ 実証実験の実施と結果の取り纏め
- **ビッグデータの利用できる参加企業内、他WGとオープンなデータソースの抽出と整理**
 - ・ データソースの抽出と整理

WGの活動に向けた構成

本WGの活動に向けて、以下のような構成で対応していきます。

- WG全体会合の配下にテーマ(領域)に応じたSWG(SubWG)を設定
- アドバイザと他WG主査および他団体との連携も行う



WGの活動内容と役割

WGの活動内容

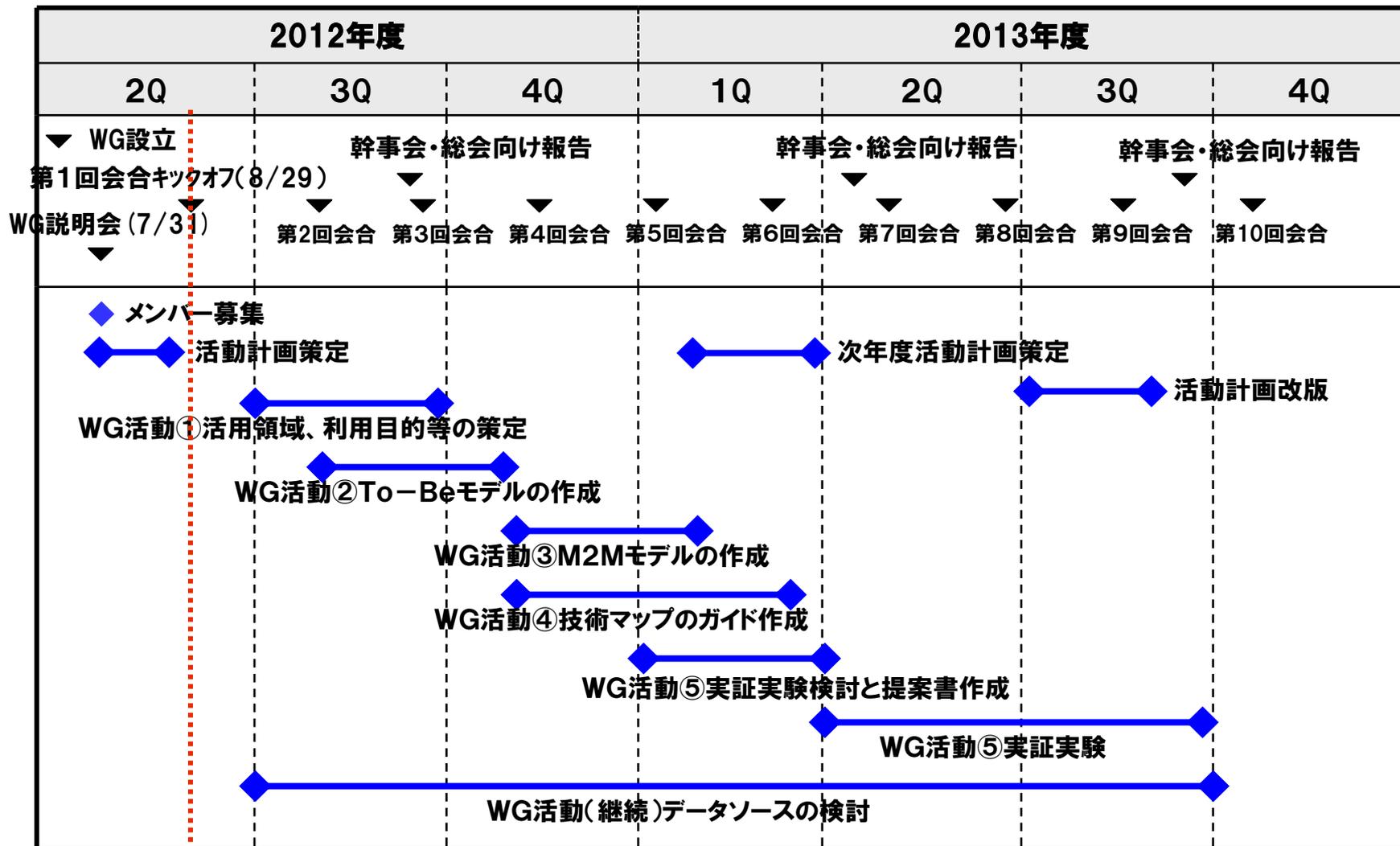
- WGの全体会合は、全参加企業で2ヶ月に1回程度で実施
- SWGの会合は、最低月1回の実施とし、必要に応じて適宜実施
テーマ別のSWGを参加企業で構成し活動。SWGの中でリーダ企業を選定し活動を促進

役割

- 主査(幹事)
WG運営の取り纏めおよび、JCCの総会等への報告を担当
- SWG
テーマ別の検討・議論を実施する場。10社程度で構成を想定し、その中からリーダ企業を選定。
- アドバイザ
外部の有識者、コメンテータとして、WGの活動に対して助言を頂く。
- 他WG主査
系横断を目的に、他WGの主査との連携を図る。
- 外部団体
外部団体との連携を図る。
- 事務局
WG運営支援とJCCとの連絡等を担う。

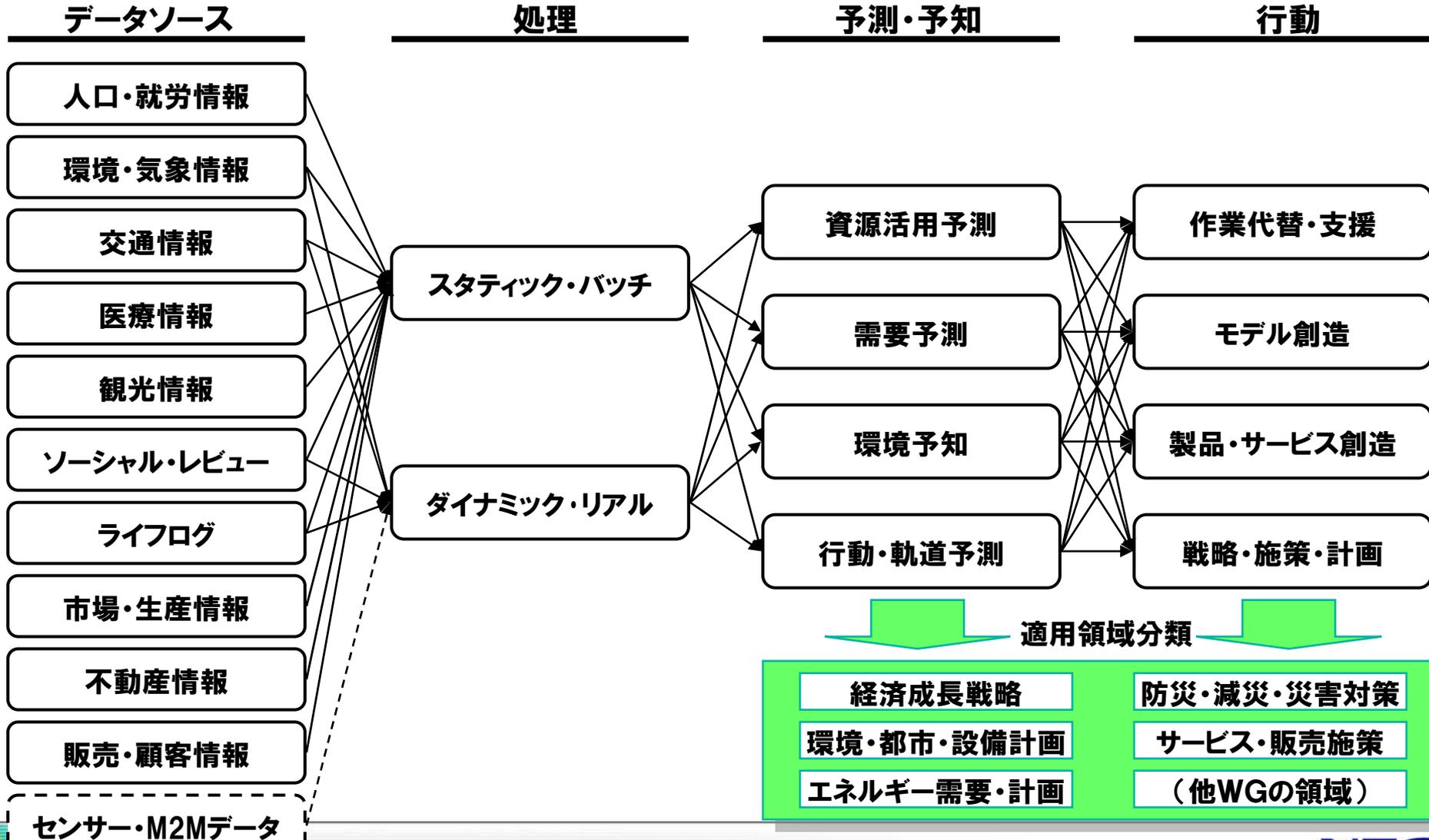
WG活動の大日程

※ご説明会の日程より前倒しの再編成



ビッグデータの活用の考察

現実社会のデータソースから、「予測・予知」さらには「行動」へと繋げていく。「予測・予知」と「行動」をモデル化・分類化を進める。



適用分野分類

| No | 適用分野分類 | 補足内容 |
|----|------------|--|
| 1 | 経済成長戦略 | <p>様々な情報からの経済指標の分析・予測し、市場別、事業領域別の成長戦略の立案に結びつける。観光、イベントでのビッグデータの活用は、この領域で検討する。</p> <p>※ビッグデータによるデータ利活用市場は経済成長に繋がる</p> |
| 2 | 環境・都市・設備計画 | <p>地図情報、気象情報、環境情報、河川情報、海洋情報、公共施設情報、建築情報、(公共)交通情報、行動履歴と工事情報等々のデータ利活用から公共、民間と個人の環境・都市・設備計画を提供できる仕組み。</p> |
| 3 | エネルギー需要・計画 | <p>企業または個人でのスマートメータ・電力センサーの情報、企業の電力消費情報、気象情報等々のデータ利活用から電力需要と利用計画を提供できる仕組み。</p> |
| 4 | 防災・減災・災害対策 | <p>場所、日時別の気象情報、環境情報、河川情報、海洋情報、道路情報等々のデータ利活用から防災・減災・災害のための様々な仕組みとの連携へ対応。</p> <p>また、地図情報、監視カメラ、センサーからの情報等々からのパブリック・セーフティの領域への対応。</p> |
| 5 | サービス・販売施策 | <p>過去の行動・購買履歴、ECサイト閲覧履歴、位置情報、利用履歴と故障履歴等々のデータ利活用からサービス・販売の施策を提供できる仕組み。</p> <p>※ビジネス面での活用要素が大きく、本WGでの検討対象外とする。</p> |

※ICTを活用した街づくりへの適用をイメージした公共分野を中心に検討していく(No1~4)

活動の進め方（前半部）（1）



WG活動①

- 活用領域を限定することはできないが、企業のビジネスに抵触する部分は議論しづらい
- 領域を公共分野を中心に、または他WGの活動領域を軸に検討する

| No | 活用領域 | 利用目的・用途 |
|----|------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

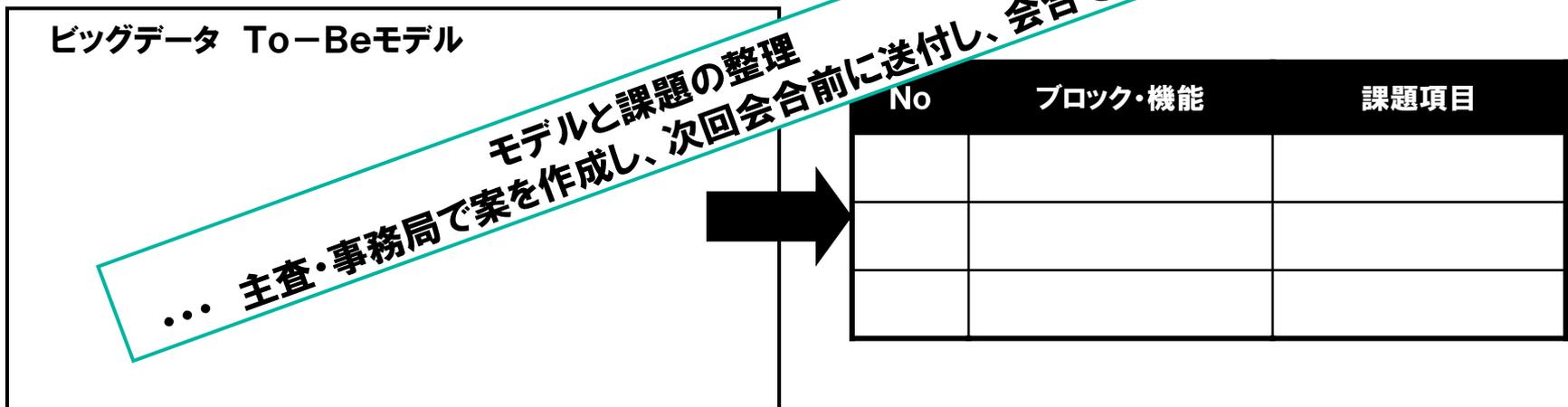
表形式に整理...次回会場までに全参加企業様で整理

活動の進め方（前半部）（2）



WG活動②

- ビッグデータのTo-Beモデル(システム観点、運用観点、ビジネス観点を盛り込む)の検討
- モデルからの課題の抽出



活動の進め方（前半部）（3）



WG活動(継続)

- 公共のオープン化されているデータの抽出
- インターネット上のオープン化されているデータの抽出

| No | データ分類 | データの内容 | 有償・無償 |
|----|-------|--------|-------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

表形式に整理...次回会場までに全参加企業様で整理

その他の活動の進め方

- ① データ・情報にアクセスするためのAPI・決まりごとは議論し策定していく …… ガイド化
- ② 具体的なデータを活用する(データを溜めて、利用できる)場を構築していく
- ③ M2M・ビッグデータの有識者の紹介
- ④ M2M・ビッグデータの事例蓄積・紹介の場を、メンバーの気づきという観点で実施していくか
- ⑤ 他のWGとの連携イメージは、ヒヤリング後に、こちらからの期待感を整理していくような活動にしていくのか

4. WGの活動に関する議論（フリーディスカッション）

5. 連絡事項

連絡事項

■ 全員参加での会合は、2ヶ月単位に実施していきます。よって、次回は10月後半に開催予定です。

別途、事務局より、メールにて開催をご連絡します。

※次回は、デロイトトーマツ コンサルティング(丸の内)で開催予定です。

■ 次回の会合終了後に、懇親会(会費制)の開催を考えております。

会合の案内と併せて、ご連絡いたします。

※懇親会も定期的を開催していくことを想定しています。

Empowered by Innovation

NEC